



## TOPICS

- ◇次世代を担うルーキー達
- ◇春季リーグ戦結果報告 ◇OB訪問
- ◇部員の一日の活動 ◇編集後記



KANSAI BASEBALL TEAM

## 新入生特集 ～次世代を担うルーキー達～

今年も、全国各地から個性豊かな新入生34名が関大野球部に加わりました！新入生を加えた現在の部員数は、選手142名、学生コーチ4名、マネージャー11名の総勢157名となりました。今年の春季リーグ戦ですでに活躍した選手だけでなく、他にも有望な選手がたくさんいます。甲子園の出場経験者も多く、今後の活躍が大いに期待できます。入部して約2ヵ月が経ちました。練習をしているときは厳しい声をかけ合いますが、野球を離れると仲良く話す姿がよく見られます。



また、1、2年生が出場する新人戦が6月21日（金）に豊中ローズ球場、22日（土）、23日（日）に関西学院大学グラウンドにて行われます。これからの関大野球部の歴史を築いていく期待の選手達が出場します。新人らしいフレッシュな動きでチームを新人戦2季連続の優勝に導いてくれることと思います。ご声援よろしくお願ひします。

## リーグ戦出場メンバーインタビュー

リーグ戦を経験し、どのような思いですか？

また、今後の意気込みを教えてください。

**吉川**：リーグ戦の雰囲気味わい、もっと成長したいと感じました。次はチームに貢献できるよう堂々とした投球をします！

**響**：緊張せず自分のプレーができ、収穫の多いリーグ戦でした。今回の経験を活かして、日々成長します。

**安井**：結果を出すことはできませんでしたが、色々と学ぶことができたリーグ戦でした。今後のリーグ戦ではホームランを打ちたいです！

**永岡**：1点差のゲームが多く、緊迫感のある試合を数多く経験できてよかったです。リーグ戦では、絶対に安井よりも多くホームランを打ちます！

新戦力の活躍に期待してください！

◇写真◇ 左から

- ・響 和也 捕手（社1・福知山成美）  
今季先発マスクを経験。
- ・吉川峻平 投手（文1・関大北陽）  
1年生の投手でただ一人リーグ戦に登板。
- ・安井洸貴 外野手（経1・大阪桐蔭）  
1年生で最多出場。
- ・永岡駿治 内野手（経1・報徳学園）  
京大戦で決勝打を放った。



# 春季リーグ戦 ～結果報告～

「結～想いはひとつ～」というスローガンの下、優勝へ向けて全員の心を一つにし、オープン戦では何試合も接戦を経験し、万全の状態でもリーグ戦を迎えることができました。開幕試合が2日間雨天順延など、選手はコンディションを調整するのに苦労したと思いますが、同大との開幕戦・近大との初戦を2連勝し、最高の開幕ダッシュに成功しました。しかし、続く立命戦・



関関戦の2、3回戦と関大らしい接戦を繰り返しましたが、あと一本、あと一点に苦しみ無念の敗北。連敗し、苦しい立場になりましたが、雨天順延で行われた同大3回戦で勝利し、最終節の京大戦も連勝して勝ち点を挙げました。そして、6勝7敗勝ち点2で4位という結果に終わりました。



今季のリーグ戦は大学関係者の方、ご家族、OBの方などリーグで最も多くの方に観戦に来て頂きました。皆様の応援はグラウンドでプレーする選手達の大きな力となりました。しかし、良い結果を報告できなかったことを非常に申し訳なく思います。夏季の練習ではなぜ打てなかったのか、なぜ勝てなかったのかを追求し、秋季リーグ戦で皆様に優勝のご報告ができるように頑張ります。今後とも温かいご声援をよろしくお願い致します。



## リーグ戦を終えて

～ 藤田 透 監督 ～

優勝という意識を冬季練習から全部員が強く持ち、春季リーグ戦に臨みましたが、勝負どころでの打撃の弱さが目立ったシーズンでした。技術の向上は勿論のこと、特に精神面の強さを全選手が身につけ、秋のリーグ戦を戦いたいと思います。今後とも関大野球部へご声援よろしくお願い致します。

順位	校名	近大	立命	関学	関大	同大	京大	勝	敗	勝ち点
1	近大	※	○○	○○	●○○	○○	○●○	10	2	5
2	立命	●●	※	○●●	○○	○○	○●○	7	5	3
3	関学	●●	●○○	※	●○○	○●●	○○	7	6	3
4	関大	○●●	●●	○●●	※	○●○	○○	6	7	2
5	同大	●●	●●	○●○	●○●	※	○○	5	7	2
6	京大	●○●	●○●	●●	●●	●●	※	2	10	0



## ☆関大MVP☆

[投手]石田光宏 (経2・近江) 防御率 1.29

リーグトップとなる83回 1/3 を投げ、リーグ3位の4勝をマーク!

この春、エースとして多くの試合に投げさせてもらいましたが、なかなか結果が出ず、とても悔しい思いです。まだまだ自分の力が足りないと思いますので、秋にはさらに成長して、応援して下さる方々の期待に応えられるよう頑張ります!



[投手]畑瀬聡史 (政策3・関大北陽) 防御率 0.85

リーグ最少失点となる失点3で、防御率堂々のリーグ第2位!

今回優勝を逃しはしましたが、一戦一戦学ぶ試合が多く、その中で投げられたことでとても多くの収穫がありました。まだまだ自分に足りないところがたくさんありますので秋はその課題を克服し、雪辱を晴らしたいと思います!

# 野球部の1日 ～部員の一日の活動～

## \*グラウンド整備

1年生により、グラウンド整備が行われています。最近、釘の付いたトンボが新調され、以前よりも早く、そしてきれいにグラウンドの整備ができるようになりました。授業に間に合うよう全員で行なう、毎日の練習環境を整えるための大切な仕事です。



## \*昼休み

伝統の関関戦が近くなると、応援団のみなさんが一般の生徒に向けて告知をさせていただきます。この告知を見て当日球場に来て下さる学生もいます。応援団の方々にはいつも盛り上げて頂き感謝しています。

しかし、野球部も応援団に負けてはられません。自分たちで作成したピラを渡し、集客活動に力を入れました。その甲斐あって、関関戦当日には中等部の生徒約300名をはじめ多くの方に甲子園に来て頂き、本当に嬉しかったです。秋季の関関戦は大勢の方の前で関学から勝ち点を奪いたと思います。



以上のように昼休みには行事に合わせて様々な活動を行なっています。



## \*全体練習

野球部には、人間健康学部や総合情報学部、社会安全学部など千里山キャンパス以外で学ぶ部員が多く在籍しており、平日は全員で練習することが難しくなっています。そこで13時からと17時からの二部練習を行い、できるだけ全員が集まって練習できる環境を整えています。練習内容はアップ、キャッチボール、バッティング、ノック、ランメニューなどが行われ、人数が少ない時でも元気な声がグラウンドに飛び交っています。そして、今季のリーグ戦の結果を踏まえてトレーニングの量を大幅に増やし、秋季リーグ戦に向けて新しい取り組みを始めました。練習後に雨天練習場に集合し、投手と野手に分かれて体幹トレーニング、フィジカルトレーニングを行います。また、アメフト部から伝授してもらったトレーニングもメニューに組み込まれています。トレーニング後の選手は歩くことも大変だというくらい身体を最大限まで追い込んでいます。この練習でさらに力をつけ、リーグ優勝を目指します。



## \*アフター

全体練習終了後、雨天練習場ではトレーニングの傍ら、バッティング練習を行う選手が多くいます。練習で打ち足りない、バッティングフォームの調整をしたいなど目的は様々ですが、課題を克服したい、もっと上手になりたいと、強い気持ちをもって練習に取り組んでいます。この中から試合で活躍し、関大を勝利に導いてくれる選手がどんどん登場することを願っています。また、たくさんコミュニケーションをとることができるため、強いつながりが生まれています。雨天練習場では22時までボールを打つ音が鳴り響きます。

## \*新入生研修プログラム

この研修で関大野球部員として知っておくべき「礼儀」や「関西大学と野球部の歴史に関する知識」を学習します。顧問をはじめ、野球部OBの職員が講師となって実施されたもので、1年生は真剣な表情で講義を受けています。模範となる行動を発信できる体育会を代表する中心人物の育成に努めています。関大野球部の一員として活動し、4年間の大学生活ですばらしい人物に成長してほしいです。



# OB訪問

## ～第6回 樽本和夫氏～



今回は、関西学生野球連盟の審判委員として  
ご活躍されている樽本和夫さんにお話を伺いました。

### Q、当時の野球部で印象に残っていることはありますか？

当時は4学年合わせて27人で1年生のころは同学年が10人程度しかおらず、グラウンド整備などが大変でした。また、思い出に残る試合は3年秋の近大戦です。守備の際に捻挫してしまい、途中交代をし、そのまま病院へ行きました。冬の練習でも同じところを痛め、それが原因であらゆる箇所を故障し、4年生ではほとんど試合に出られませんでした。

### Q、審判を始めたきっかけ、また醍醐味を教えてください！

まず、審判を始めたきっかけは知人からの紹介です。卒業後も、どこかで野球に携わっていたいと思っていました。今も審判を続けているのは、本当に野球が好きだからだと思います。審判の一番の醍醐味はゲームを作れること。そして、セーフかアウトの際どい判定をするときにやりがいを感じます。

### Q、最後に現役部員に一言お願いします。

小さな努力の積み重ねがレギュラーへの一番の近道だと思います。その努力が試合での勝利につながります。勉強と野球、文武両道でこれからも強い関大野球部の伝統を守って行ってください！

樽本 和夫 (S51入)

関大一高から関大へ進学。大学卒業後、ひかりのくにへ入社。その後、ホンダパーツ関西へ転職。現在は関西学生野球連盟の審判委員としてご活躍されてます。

～ 貴重なお話、ありがとうございました ～

## 6月～8月の予定

6月		予定	7月		予定
21	金	春季新人戦(豊中ローズ球場) 対近畿大学(10:30～)	11	木	ハワイ親善試合
22	土	近大に勝利した場合(関西学院大学G) 対同志社大学(10:30～)	13	土	(萩谷総合公園野球場:高槻市)(13:00～)
23	日	決勝戦(11:30～)(関西学院大学G) 3, 4位決定戦(9:00～) 5, 6位決定戦(14:00～)	25～8/1		春学期試験
28	金	関西オールスター5リーグ対抗戦 対関西六大学野球連盟(10:00～) (わかさスタジアム京都)	8月		予定
29	土	関六連に勝利した場合(13:00～) 敗れた場合(10:00～)	1	木	高槻練習開始
30	日	決勝(10:00～) 3位決定戦(13:00～)	6	火	フレッシュマンキャンプ(滋賀県・1年生)
			7	水	
			8月中旬～		夏季オープン戦

<http://ameblo.jp/kubbc1915/>

野球部ブログ更新中！是非ご覧下さい！

## 編集後記

マネージャー2年生 大本 亮

こんにちは。奪首×Dash 第14号はいかがでしたか。今季のリーグ戦は思うような結果が出ず、悔しい結果となってしまいましたが、関大野球部は多くの方々に応援していただいていることを実感しました。また、ここに書ききれない内容は、野球部のHPやブログで更新しております。是非そちらもご覧になってください。これからも応援よろしく申し上げます。

